

<http://www.atmarkit.co.jp/flinux/rensai/linuxtips/554useusbmem.html>

<http://www.atmarkit.co.jp/flinux/rensai/linuxtips/555usbmemuser.html>

確認

認識したかどうかは、`dmesg` コマンドで確認できる。

`/var/log/messages` にもログが記録される。

マウント

SB メモリは、SCSI デバイスとして認識される。従って、マウントは次のように行う。

```
# mount -t vfat /dev/sda1 /mnt/usbfm/
```

使用後はアンマウントすること

`/dev/sdb1` として認識されることもある

```
# mount /dev/sdb1 /mnt/usbfm/
```

自動マウント

一般ユーザーでも USB メモリをマウント / アンマウントできるようにするには、`/etc/fstab` に以下の設定を追加すればいい

```
/dev/sda1 /mnt/usbfm auto noauto,user 0 0
```

日本語のファイル名が化けて表示される場合は、以下のように設定する。

```
/dev/sda1 /mnt/usbfm auto noauto,user,iocharset=euc-jp 0 0  
文字コードが EUC の場合 (Red Hat Linux など)
```

```
/dev/sda1 /mnt/usbfm auto noauto,user,iocharset=utf8 0 0  
文字コードが UTF-8 の場合 (Fedora Core 1)
```

使用後はアンマウントすること。